

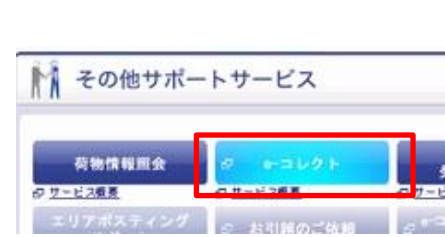
(1)「Internet Explorer のボタンが押せない」についての対処方法についてはアクティブ スクリプト設定が有効か確認してください。

ボタンが非活性化状態にある。

画面1



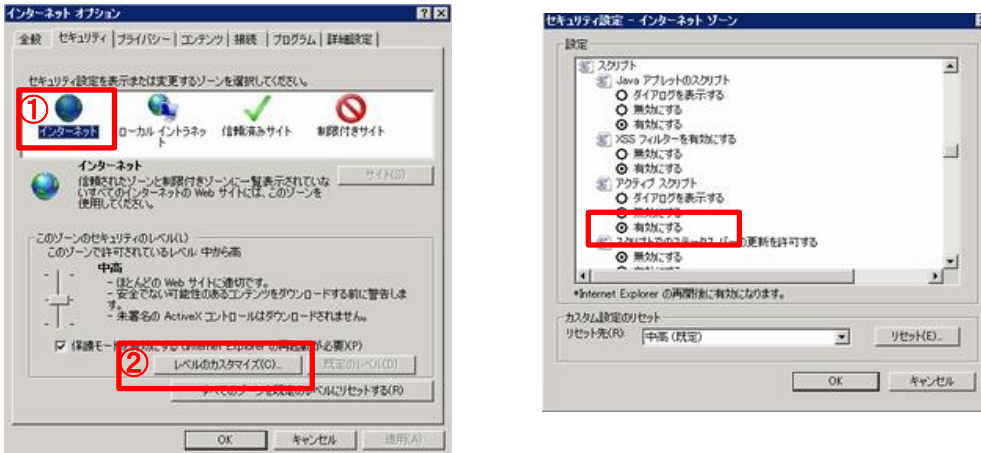
画面2



1. Internet Explorer を起動します。
2. [①ツール] をクリックし、[②インターネットオプション] をクリックします。

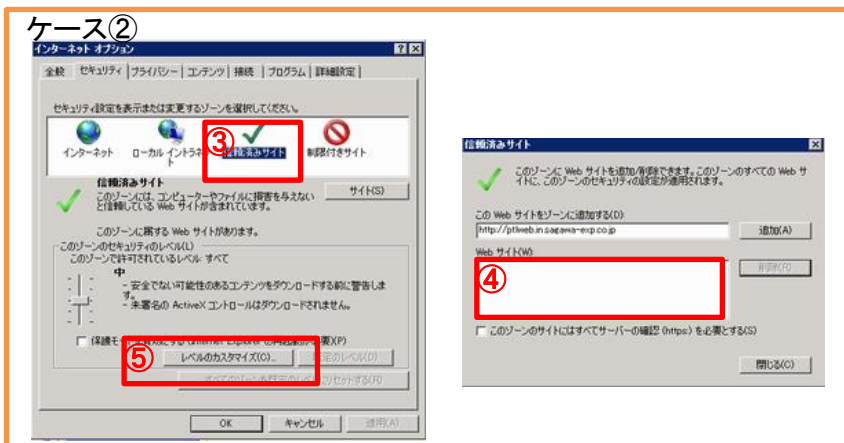


3. [インターネットオプション] の[①インターネット]上の[②レベルのカスタマイズ]をクリックし、アクティブスクリプトを有効にします。



*[アクティブ スクリプト]が有効か確認

4. セキュリティ設定で[③信頼済サイト]がアクティブの場合には信頼済サイトを登録してください。



[④Webサイト]の登録要不要を確認して[不要URL(開かないURL)の削除]と[URL情報の新規登録]を行います。

Webサイト(W)URL https://*.e-service.sagawa-exp.co.jp
<https://www.sg-financial.co.jp>
https://*.sagawa-exp.co.jp
<http://www.sg-hldgs.co.jp>

(2)「Internet Explorer (IE)ではこのページは表示できません」についての対処方法はユーザ環境のネットワーク接続に起因するエラーが先に考えられますが、原因がネットワーク接続でない場合は、以下の方法を試してください。

- 注意点
- * IE [信頼済みサイト]設定が有効となっている場合には[各種ボタンが押せない]の項目3を参照。
 - * OSがWindows Server の場合 セキュリティ強化構成(IE ESC)設定に問題がある事が考えられます。(OSバージョンによりIE ESCの対応方法が異なります。)

方法 1 :Internet Explorer 閲覧の履歴の削除機能を使用します。

モデムやルーターをリセットしても問題が解決されない場合は、閲覧の履歴を削除すると解決される場合があります。次の手順に従って、以下のデータを削除します。

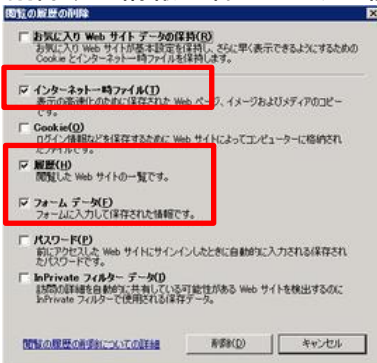
- ・インターネット一時ファイル
- ・履歴
- ・フォーム データ

* IE [F5]でのデータ削除はインターネット一時ファイルのみです。

1. Internet Explorer を起動します。
2. [①セーフティ] をクリックし、[②閲覧の履歴の削除] をクリックします。



3. 削除する情報の各カテゴリの横にあるチェック ボックスをオンにします。

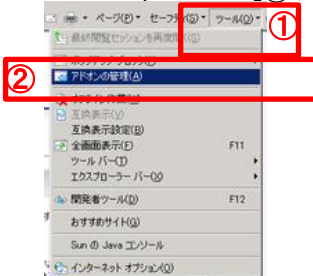


- 【チェック項目】
- ・インターネット一時ファイル
 - ・履歴
 - ・フォーム データ

4. お気に入りリストの Web サイトに関連する Cookie やファイルを削除しない場合は、[お気に入り Web サイト データの保持] チェック ボックスをオンにしますが今回はオフにします。
5. [削除] をクリックします (ファイルや履歴がたくさんある場合は、この処理にしばらく時間がかかります)。
6. Internet Explorer を終了して、Internet Explorer を再起動し、Web ページへのアクセスを試みます。同じエラー メッセージが表示される場合は、次の方法に進みます

方法2:Internet Explorer (アドオンなし) モードを使用して既に設定されたアドインを無効にします。

1. Internet Explorer の[①ツール] メニューの [②アドオンの管理] をクリックします。



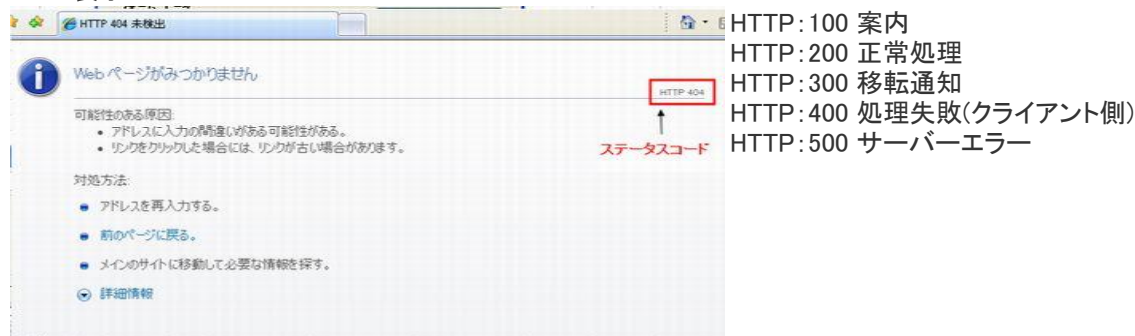
2. [名前] ボックスの一覧で 1 つのアドオンをクリックし、[無効] をクリックします。



[有効]を[無効]にします。

3. を繰り返して、問題の原因となっているアドオンを特定します。

(3)インターネットのWebページにアクセスしたときに、「Webページが見つかりません」というエラーメッセージ表示



ステータスコードは画面の右上の方に小さく表示されます。ページを表示できない原因のほとんどがファイルが削除されたか、ファイル名が間違っていることによるもので、「HTTP 404」と表示されます。

ステータスコードが400番台であれば、Webページを見ている側(クライアント側)にエラーが、500番台ならばWebサイト(サーバー側)にエラーが発生していることを示しています。代表的なステータスコードは以下の通りです。

□主なHTTPのステータスコード

◆400

- 400 Bad Request・・・アドレスが間違っていたために、Webサーバーが要求されたリクエストを解釈、実行できなかったときに表
- 401 Unauthorized・・・認証コードが必要なことを示しています。ブラウザにIDとパスワードの入力が必要です。正しいID・パスワードがないとアクセスできません。
- 403 Forbidden・・・リクエストは理解されましたが、何らかの理由で実行されなかったときに表示されます。「アクセスする権限がありません」とも表示されることがあります。なお、URLに「s」を追加して「https://」とすると解消される場合があります。
- 404 Not Found・・・リクエストされたリソースが見つからなかったときに表示されます。ファイルが移動したか、URLの入力ミスがほとんどなので、再度確認してみましょう。サーバが落ちている(稼動していない)場合もあります。
- 405 Method Not Allowed・・・許可されていないメソッドタイプのリクエストを受けた。
- 406 Not Acceptable Accept・・・ヘッダから判断された結果、受け入れられない内容を持っていた。
- 407 Proxy Authentication Required・・・最初にProxy認証が必要です。
- 408 Request Time-out・・・リクエストの待ち時間内に反応がなかった。
- 409 Conflict・・・そのリクエストは現在の状態のリソースと矛盾するため完了できなかった。
- 410 Gone・・・そのリクエストはサーバでは利用できず転送先のアドレスも分からない。
- 411 Length Required・・・定義されたContent-Lengthの無いリクエストを拒否しました。
- 412 Precondition Failed・・・1つ以上のリクエストヘッダフィールドで与えられた条件がサーバ上のテストで不正であると判断しました。
- 413 Request Entity Too Large・・・処理可能量より大きいリクエストのため拒否しました。
- 414 Request-URI Too Large・・・リクエストURIが長すぎるため拒否しました。
- 415 Unsupported Media Type・・・リクエストされたメソッドに対してリクエストされたリソースがサポートしていないフォーマットであるため、サーバはリクエストのサービスを拒否しました。
- 416 Requested range not satisfiable・・・リクエストにRangeヘッダフィールドは含まれていたが、If-Rangeリクエストヘッダフィールドがありません。
- 417 Expectation Failed Expect・・・リクエストヘッダフィールド拡張が受け入れられなかった

◆500

- 500 Internal Server Error・・・サーバー側がリクエストを実行できない状態にあります。サーバーが一時的にビジー状態か、サイトのゲートウェイに負担がかかっている可能性があります。掲示板が閉鎖されたサイトでも、この種類のエラーが出る可能性があります。
- 501 Not Implemented・・・サーバーがリクエストを実行できる環境をサポートしていないときに表示されます。
- 502 Bad Gateway・・・アクセス先のゲートウェイから無効なレスポンスを受信したときに表示されます。
- 503 Server Unavailable・・・大きな負担がかかっているかメンテナンス中のために、一時的にリクエストを実行できない状態にあります。時間を置いて再試行してみるとアクセスできる可能性が高いです。
- 503 Mapping Server Error・・・クリックカブルマップで、変なアドレスを指定した。
- 503 Too many users・・・この時間このページにアクセスできる定員オーバーをしました。
- 503 Method Not Allowed・・・CGIで送信時にPOSTかGETの一方しかできないのに、違う方を行った。
- 504 Gateway Time-out・・・リクエストを完了するために必要なDNSなどのサーバからレスポンスを受信できなかった。
- 505 HTTP Version not・・・supported サポートされていないHTTPプロトコルバージョンを受けた。
- HTTP/1.0 Server Too Busy・・・たくさんのユーザーが集中してアクセスしてきているため、サーバーのアクセス制限に引っかかっています。時間を置いてアクセスし直します。
- Page has Expired・・・一定時間だけ有効なWebページで、制限時間を越えてしまうと表示されます。ページを更新するなどして読み直せば表示されます。